

戸塚 哲夫 議員

障がい者支援について

**問** 就労支援施設の農業分野への参入についての方針は。

**答** 農業の担い手不足の解消と障がい者の経済的自立を推進するため、農地の確保や栽培技術の支援などの協力を行うとともに、耕作放棄地を解消し農地として活用する際には、市や国・県の補助制度を活用できるように支援していきたい。

浅岡交差点歩道橋の整備は

**問** 浅岡交差点歩道橋の安全点検、修繕の予定は。現在の東西歩道橋にあわせ南北に歩道橋の設置ができないか。

**答** 本年度実施する定期点検結果に基づき補修等をしていく。県が設定している新設の基準を満たしていないが、通行状況の調査や安全点検等を実施し、安全確保に努めていく。



浅岡交差点の歩道橋

組体操事故問題について

**問** スポーツ庁、県教育委員会の要請を受けて、どのような方針としたのか。

**答** 組み体操を実施する場合は、その目標や狙いを踏まえ、内容の慎重な検討と最大限の安全指導に配慮し、事故防止対策を講じた上で実施するよう指導していく。

岡本 幹男 議員

熊本地震を踏まえ

木造住宅の耐震対策は

**問** 袋井市の昭和56年6月から平成12年5月に建てられた木造住宅の耐震診断では85%が倒壊の可能性があるとされており、耐震化補助等の対策を進める必要はないか。

**答** 市独自の制度では相当な財源的用意が必要であり、国や県に助成を申し入れたい。

通学路の道路整備は

**問** 市内児童生徒の通学路に、草の繁茂や、水たまり、横断歩道の白線標示の劣化等の事例が多く、安全確保に確認のルール付けが必要ではないか。

**答** 通学路の危険箇所は各学校で4月に点検・確認し、自治会を通じ市へ要望している。教員だけの確認は困難であり、地域の協力もお願いしたい。

文化的資産の掘り起こしを

**問** 浅羽佐喜太郎公記念碑は平成30年に建立100周年を迎えるため、関係諸団体の連携を取り、記念事業実行委員会の立ち上げなど体制整備が必要ではないか。

**答** 市として様々なイベントや資料展示の充実を行い、地域の人、市内小中学生、市外から訪れる人に広く浅羽佐喜太郎の功績を伝えたい。



熊本地震による木造家屋の被災状況